



六辻 大士

Mutsuji Taishi

国税専門官 平成28年採用

大阪国税局 徴収部

子育て支援制度が充実
休暇取得しやすい環境



Question

1

現在の仕事内容について教えてください。

私は現在、徴収部徴収課に所属しています。税務署の徴収部門では、納税者の方との納付相談や、納税に対して誠意がない滞納者に対する滞納処分の執行等を行っていますが、徴収課では、これらの事務についての企画や運営、指導、監督などを行っています。私は、その中でも、主に滞納処分の執行等に関して、法令の解釈、適用に関する事務を担当しています。私自身が直接滞納処分をするというわけではありませんが、自らの判断や企画した施策によって、税務署の徴収事務に大きな影響を与えることとなりますので、非常にやりがいがある仕事です。



Question

2

どのようにして仕事と子育てを両立していますか。

率直なところ、自分の力量だけで両立しているとは思っておりません。家族はもちろん、職場の理解や協力を得て、なんとか両立できているものと思います。私が日頃から意識していることは、勤務時間内に仕事を終わらせることです。なるべく早く帰宅し、家族と過ごす時間を確保することを心掛けています。また、国税の職場は、仕事と育児の両立支援制度が充実しており、これらを活用する（私の場合、育児休業を5か月間取得しました。）ことで、仕事と育児の両立ができたと思います。ただし、制度を上手に活用するには、職場の理解や協力があってこそだと思いますので、日頃から上司や先輩に家庭事情等についても相談することが大事だと実感しています。



Question

3

休日の過ごし方について教えてください。

子供は外遊びが大好きなので、お気に入りの公園に行って一緒に遊んだりしています。また、最近は乗り物（特に電車）に熱中しており、子供と2人で電車に乗って、いろいろな場所に出かけることも多いです。平日は自宅と職場を往復するばかりなので、休日に子供とレジャー目的で外出することで、自分自身もリフレッシュすることができます。国税の職場は、職員が休暇を取得しやすい環境が整っているので、プライベートの予定を計画する上で、とても助かっています。子供が、親と遊んでくれる期間は、それほど長くはないと思いますので、一緒にいられる時間をなるべく大事にしようと思っています。



Message

「国税の職場はとても忙しいので、ワークライフバランスの充実は難しいのでは。」というイメージを持っている方もいらっしゃるかもしれませんが。

確かに、国税の業務は、高度な専門知識等が求められるため、日々の研鑽は欠かせません。しかし、国税の職場は、職員とその家族の生活を支援する制度が非常に充実しています。税のプロフェッショナルとして仕事を通じて自身を成長させたいという方、また、プライベートでは家族との時間をしっかり確保してワークライフバランスを充実させたい方は、国税専門官を目指してみてもいいのではないでしょうか！